

(様式第1号)

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	エネサーブ株式会社			
代表者名	氏名	木下 賀夫	役職名	代表取締役
主たる事務所の所在地	〒520-2152 滋賀県大津市月輪二丁目19番6号			
事業者の区分	<input type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する一般電気事業者		
	<input type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する特定電気事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する特定規模電気事業者		
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者		
主たる事業の概要	PPS事業 電力設備メンテナンス事業 省エネ機器販売事業			
電力供給量 (総量)	404,677	千kWh	電力供給量 (長野県)	26,894 千kWh

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	2014 年度 ~ 2016 年度	報告対象年度	年度
------	-------------------	--------	----

3 公表方法等

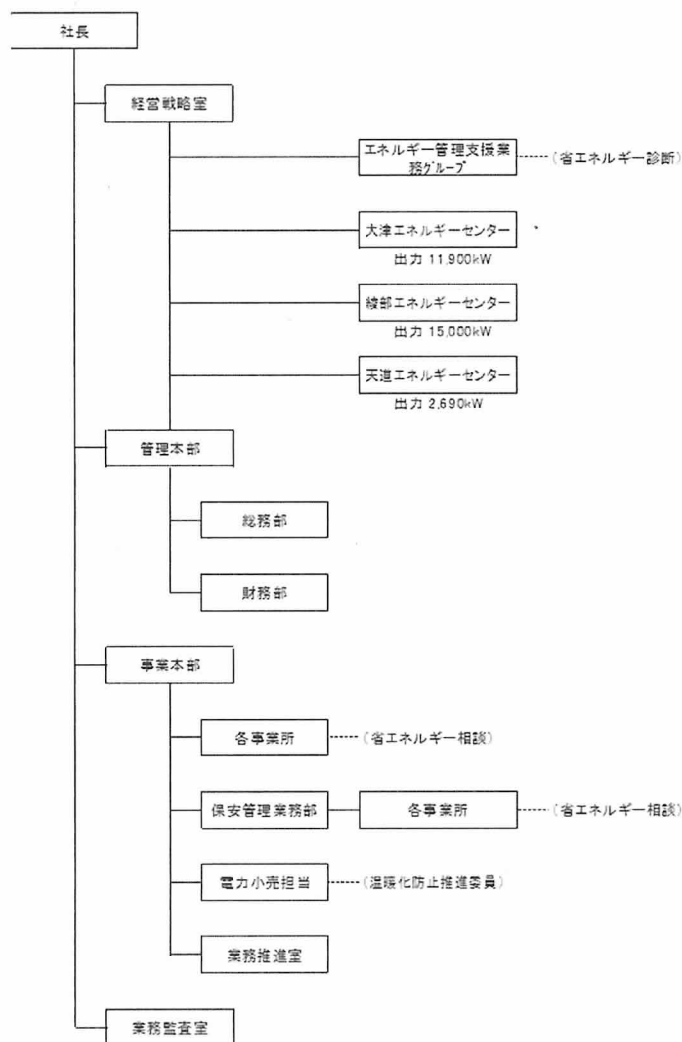
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.eneserve.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input type="checkbox"/>	その他	

(様式第1号)

4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

- ・ 自社発電時の燃料であるA重油の消費量の削減を図ります。具体的には、大津・天道両エネルギーセンターでの発電時に植物油（主に廃食油）を混入・燃焼し、二酸化炭素の排出削減を図ります。
- ・ 水力・太陽光・自治体の廃棄物発電電力などの電力を調達し、再生可能エネルギーの利用拡大を図ります。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制



(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標

基準年度	実排出係数	0.000615	t-CO2/kWh
2013年度	調整後排出係数	0.000245	t-CO2/kWh
目標年度	目標排出係数	0.000555	t-CO2/kWh
2016年度	目標削減率	10	%
目標設定に関する説明	水力・太陽光・自治体の廃棄物発電設備からの発電電力を積極的に調達し、目標達成を図ります。		
第一年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
2014年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			
第二年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
2015年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			
第三年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
2016年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

- ・太陽光発電所からの電力調達を進めます。

8 送配電時の電力損失低減に関する措置

送配電設備は保有しておりません

9 需要家の省エネルギー対策の推進に関する措置

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	・自社開発したエネルギー・CO2計測システム（G-Pacs）の需要家への設置・利用を通じて、各需要家のエネルギー使用、CO2排出量の見える化を図り、高効率化設備への改修提案を行っております。
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	・当社顧客に対して省エネルギー関連の相談窓口を各事業所に設けております。
その他	

(様式第1号)

10の1 自然エネルギーによる発電量に関する目標

区分	発電量		増減率		自然エネルギーの種類 (内訳)
	千kWh	千kWh		%	
基準年度	681	千kWh		%	バイオマス (廃食油)
目標年度	2200	千kWh	223	%	バイオマス (廃食油)、太陽光発電
第一年度		千kWh		%	
第二年度		千kWh		%	
第三年度		千kWh		%	

10の2 自然エネルギーにより発電された電気の調達量に関する目標

区分	調達量				自然エネルギーの種類 (内訳)
	千kWh	千kWh	県内分	千kWh	
基準年度	15,264	千kWh		千kWh	バイオマス (廃棄物)、水力発電、太陽光発電
目標年度	25,000	千kWh	1,000	千kWh	太陽光発電、水力発電、バイオマス (廃棄物)
第一年度		千kWh		千kWh	
第二年度		千kWh		千kWh	
第三年度		千kWh		千kWh	

10の3 自然エネルギーの普及・供給拡大に関する措置

自社発電として、現在の廃食油バイオマス発電の利用率を上げていくほか、新たに太陽光発電を行い、自然エネルギー由来の発電の拡大を図ります。
 他社からの調達として、太陽光発電所からの調達を増やすとともに、水力や自治体からの廃棄物バイオマス発電の調達も含め、調達量の拡大ならびに調達源の多様化を図ります。

1 1 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究

<ul style="list-style-type: none">・ 自社発電所において、発電時に発生する排風を利用した風力発電を行っており、未利用エネルギーの活用に取り組んでおります。・ 大型リチウムイオン蓄電池を自社開発し、今後この蓄電池を活用した電力ピークカットおよび自然エネルギーの出力変動の蓄電技術の研究を進めます。

1 2 の 1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	自社の天道エネルギーセンターにおいて、地元で発生し市民グループを通じて引き取った廃食油によるバイオマス発電を行っております。
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

(様式第1号)

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	グリーン電力証書の発行事業を行っております。 省エネ・CO2発出削減のため、 社内のクールビズ・ウォームビズを実施しています。
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

13 自由記載欄

特にございません
